

S S T L

NO. 61 2018.11.12

職場参加ニュース

共に働く街を創るつどい2018

共に働く街づくり

—国・自治体の障害者雇用施策の現状とこれから



水増し問題を機とした国・自治体の障害者雇用見直しを、民間企業等も含めた共に働く街づくりへの新たな一歩へ。

地域に密着した自治体の現状報告を受けながら、働く障害者や支援機関、事業所等の体験もまじえて、これからの展望と課題を考え合いましょう。
みんな来てね!

日時：2018年12月9日(日) 13:30~16:20 (13:00開場)

会場：越谷市中央市民会館4階 第17、18会議室

参加費：会員500円、非会員600円(資料代共) 手話通訳(依頼中)

現状報告：伝田ひろみさん((障害者の自立と政治参加をすすめるネットワーク代表、さいたま市議)、さいたま市、越谷市、春日部市(依頼中))

パネルディスカッション：

伝田ひろみさん(障害者の自立と政治参加をすすめるネットワーク代表、さいたま市議)

民間企業で働いてきた障害者

障害者の就労・生活支援関係者

民間企業関係者ほか

コーディネーター：

朝日雅也さん(埼玉県立大学保健医療福祉学部教授)

コメンテーター：

さいたま市、越谷市、春日部市(依頼中)

！
当日同じ会場で直前に臨時総会を開きます！
12月9日(日) 13時~13時20分 会員の方よろしくお願いします。

主催：NPO法人障害者の職場参加をすすめる会
〒343-0023 越谷市東越谷 1-1-7 職場参加ビューロー世一緒内
048-964-1819 (fax 共) shokuba@deluxe.ocn.ne.jp

共に働く街づくり—国・自治体の障害者雇用施策の現状とこれから

共に働く街を創るつどい2018に向けて

■ 雇用水増し問題を機に

この夏、国、自治体の雇用水増し問題が続々と表面化し、社会問題になりました。国、自治体では、それぞれに経緯の解明や今後の雇用推進策が検討されています。

この機に、そもそも1960年の身体障害者雇用促進法発足以来「民間のお手本」と位置付けられてきた公務部門の障害者雇用が、60年近くを経て、現在どのような意味で「お手本」となりうるのかについて、あらためて考える必要があります。水増し問題への対応が急務とはいえ、後ろ向きの議論ではなく共に働く街づくりへ一歩をさらに踏み出すきっかけとしたいと思います。

■ 障害者枠・チャレンジ雇用の現状は

自治体には「障害者特別採用枠」がありますが、国も今回設ける方向で検討中といます。「障害者特別採用枠」は身体障害者限定の自治体が多く、自力通勤・自力職務遂行等の受験資格があることも多い状況ですが、知的障害者や精神障害者への拡大や受験制限の撤廃が問われています。また、従来、採用後は障害に応じた支援はしないという原則が貫かれ、要望が出しにくい半面で、配置された職場の同僚の側も共に働く上での課題を口に出すことがタブー化されている状況もうかがわれます。

一方、国をはじめあちこちの自治体で臨時採用の「チャレンジ雇用」が取り組まれ、越谷市も今年から実施しています。就労移行支援事業所「世一緒」からも1人採用されました。「チャレンジ雇用」は知的障害者や精神障害者をも職場に受け入れ、業務の切り出しや職場の対応など、体験を重ねることを通して、次の本格的な雇用に進めるようなノウハウを自治体に蓄積していく目的があります。ただ、これまで「障害者特別採用枠」がなかった国はもちろんのこと、「障害者特別採用枠」がある自治体でもその達成には程遠い部門特に教育現場などでは、上記のような目的が見えづらくなっています。

また、チャレンジ雇用は期間限定であり、臨時雇用された障害者は就労支援機関等の支援も得て次に民間職場に就労してゆくための準備過程としての位置付けもありますが、支援機関の関わりは限定的になってしまふという問題も生じます。「民間のお手本」といえるためには、こうした諸課題を整理して公開し、障害をもつ本人も含めた地域社会の関係者とともに検討し合うことが不可欠なのではないでしょうか。

■ 共に働く街づくりのお手本になるとは

さらに、「お手本」となるためには、「民間」の職場の事情や障害者がそこで働く上での課題が示されている必要もあります。この点で、当会の「職場参加」の認識と重なる内容(15分からの超短時間雇用)で自治体による民間企業の雇用支援策を試みている例として、東大先端研(近藤武夫准教授)と川崎市の連携した事業が注目されます。

「職場参加」は「超短時間雇用」を含みますが、それだけではなく、福祉施設や医療機関からのグループワークや職場体験等も重視します。この意味でも、自治体の職場での実習・体験や優先調達推進、さらには福祉施設や医療機関が業務の一環としてこれらに取り組むことができる施策や制度運用等を検討することが重要です。県内自治体では、地域適応支援事業(越谷市)や市町村就労支援事業さらには優先調達推進、共同受注ネットワーク支援などを積み重ねてきました。それらの施策ともつなげてトータルな「民間のお手本」になる道筋を探ってゆきたいと考えます。

今年の「つどい」では、冒頭に述べたように、雇用水増し問題を共に働く街づくりへの一歩として捉えなおすべく、障害者の自立と政治参加をすすめるネットワーク代表でさいたま市議の伝田ひろみさんをお招きし、全国の自治体の障害者雇用の状況とさいたまステップアップオフィス等の情報提供をいただいた上で、地元自治体の報告も受けながら、みんなで考え合います。

職場・地域ひろがりつうしん

●水辺の市1日みんなの食堂に出店



夏休みの親子連れなども参加できるようにと8月7日(火)15:00~19:00に開かれた「水辺の市1日みんなの食堂」で、当会は子どもたちに人気の光るおもちやなどの店を出すことができました。花火大会が中止になり、夜店が開けなかったのも、仕入れたおもちやが売れてよかったです。

●県交渉で障害者雇用の実態伝える



8月30,31日の埼玉障害者市民ネットワーク主催の総合県交渉で、当会会員の聴覚障害者・松山美幸さんが、複数の企業で長年働いた経験をもとに、20年前、障害があろうがなかろうが共に働いた関係が、現在の障害者雇用枠の下では失われていると指摘しました。

●水上公園で秋の花壇に向け共同作業



1994年8月24日第三種郵便物承認

プールの季節が終わったしらこぼと水上公園では、繁った夏の花を切り戻したり、秋向けの花を部分的に植える共同作業を、9月26日から10月上旬にかけて行いました。世一緒の障害者スタッフとサポーターは9:00から道具を出して作業を始め、その後、就労A,B、生活介護、精神科病院デイケアなどのチームが合流します。公財・埼玉県公園緑地協会の本部からも担当の方が参加されます。

●よ〜いどん! 市民事業寄付事業で



生活クラブ生協さいたまの「よ〜いどん! 市民事業寄付制度」に、当会の「しらこぼと笛制作・普及プロジェクト」がエントリー。世一緒の制作者たちが、9月10日~10月26日の寄付期間中、組合員にアピールするべく、生活クラブの活動の場や天然記念物しらこぼとが飼育されている動物園などを回り、キャンペーンを行いました。上の写真は生活クラブ川口センターで。皆さまご協力感謝します。

●越谷市民まつり、買い物やら相談やら

10月28日、越谷市民まつりに今年も出店まし



た。リサイクル品と飲物を販売し、飲物は完売しました。たくさんの方々がブースに立ち寄ってくれました。買い物だけでなく、職場の近況報告をする人、仕事の情報をほしい人、こんな仕事をしませんかという人、障害が重くなりもっと介助を増やしたいがどうしたら...という相談も。

こちらからも聴覚障害者協会のカレーを食べたり、こしがやエフエムのブースを訪ねたり、フリマのエリアを回ったりして交流してきました。

すいごごカフェ 11/7~12/19 1時半のゲスト



11月7日(水)

都築 幸美さん
お手玉ぽんぽんの会

お手玉に魅せられて

越谷・水辺の市にすい星のごとくデビューしたお手玉バンド!お手玉づくりの指導や販売、さらにはお手玉を用いてのコーラスなども。なぜ、いま、お手玉?

14日(水)

辻 隼門さんと父
特支学校生徒と父

西郷どん、びっくりの薩摩隼人の少年

一泊避難所体験の申し子であった隼門さんと、その父で市民活動家の純志郎さん。知的障害児が避難所では向かない足手まといなんて嘘だ。

21日(水)

SHUさん
スペイン語教師

さまよえる性別×ジェンダー

ある時はむじゃきなおじさん。ある時はおこったおばちゃん。その実態は…さまよえる×ジェンダー
さて今日はどこへ行く

28日(水)

未定

Lunch Café どっこいしょ
せんげん台すいごご

未定

毎月第4水曜は、就労移行支援事業所「世一緒」の企画でゲストをお願いし、せんげん台西口のイオン並びの同事業所ですいごごカフェを行います。

12月5日(水)

村山 英子さん
視覚障害の主婦

視覚障害をどう生きる

村山さんは進行性の視覚障害者で、息子さんが高校生の時は自転車に乗っていた。現在は視覚障害1級。障害が進む中での思いは、暮らしは?一問一答で考えます。

12日(水)

山下 浩志さん
NPO 事務局長

共生の現在を探る

ある大学で行ったこのタイトルの授業のパワポを元に、「共に生きる」って?を考えます。学生の反応も紹介し、そこからのぞく「現在」も探ります。

19日(水)

水谷 淳子さん

耳鼻咽喉科医師

Lunch Café どっこいしょ

風邪って?インフルって?

「インフルエンザは風邪じゃない」と国を挙げてPRされ、当然のようにワクチンが。でもそもそも風邪ってなに?ワクチンは必要なの?42年間の地域医療体験から。

Lunch Café のカレー(コーヒー付き)は予約をどうぞ 048-964-1819

就労移行支援「世一緒」

就労移行支援「世一緒」 埼玉県越谷市千間台西三丁目1-10
 048(971)8038 dokkoisyos3116@yahoo.co.jp



今回の参加者は個性豊かな面々です



せんげん台「世一緒」は今 秋の畑に行く

岡田農園の畑仕事が週一日入ることになり、種蒔きや草取りに出かけている。
 有機栽培だけあって、虫がいっぱいだ。「すずめ蜂や熊蜂もやってくるよ」と、岡田さんは嬉しそうに話す。「刺されたらどうすんだ」と腹立てながら、未知との遭遇にワクワクしている自分もいた。しかしその日は空振りだった。一日しゃがんだまま草取りすると腰が悲鳴をあげた。またもや岡田さんは「明日は足が痙攣するよ」と嬉しそうに言うのだ。
 蚊も凄かった。今年初めて刺された。一緒に来た萱場さんは、顔を刺されまくって、月面状態になっていたが、「お嫁に行けない(新婚さんの彼女)」とは嘆かなかった。中原さんは、刺されているのに刺されたことに気づかないガテン系な男だ。只者ではない新人が来た。
 お昼は公園で食べた。ふと桜の新芽が出ているのを見つけた。これから秋冬を越えて春がくるまで、葉っぱや花の設計のため「森の小人たち」がひそやかに働いているのだ。

所長 高瀬勇

2018年4月からせんげん台西のイ
 オン並びに開所した就労移行支援サ
 ビス事業所「世一緒」の日々を伝えます

世一緒NOW立ち読みコーナー

(世一緒NOWはグループワークにエントリーされた方だけにお送りしている内部情報紙です。NO.10の一部をここに。)

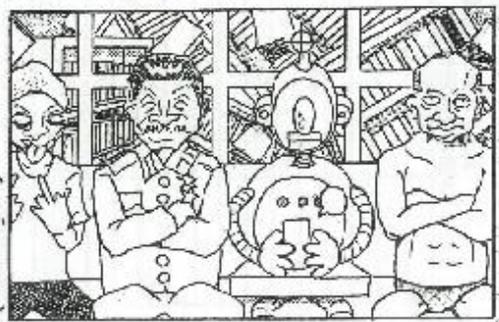
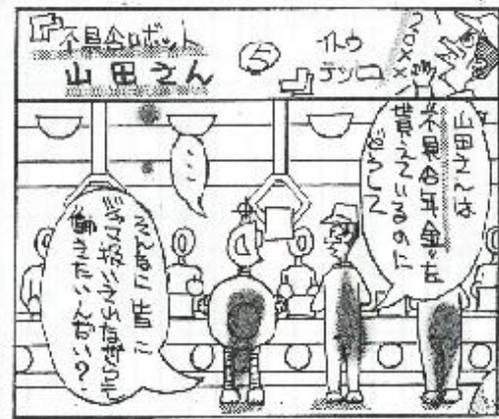


就労移行支援事業所
世一緒 yoisyo



4月から「世一緒」は2ヶ所になりました。せんげん台では「就労移行支援事業所」として、早くも就職者や職場実習中の人もいます。東越谷のハロワ向かいは、いつでもだれでも立ち寄れる場、悩んだ時のかけこみ寺として入口を広く開いています。(毎週水曜のすいごこカフェではゲストの体験談が評判です。第4水曜はせんげん台、ほかの水曜は東越谷で開きます。写真はせんげん台で6月に開いたすいごこカフェ)

世一緒NOW 職場参加ビューロー世一緒ネット通信 10号 2018/08/15
 〒343-0023 越谷市東越谷 1-1-7 須賀ビル 世一緒内 048-964-1819 (TEL&FAX)
 shokuba@deluxe.ocn.ne.jp



2018 年度会費ご納入並びにご寄付、ありがとうございます(五十音順、敬称略)

【会費】 会沢完、青木繁明、阿久津康仁、浅草秀子、朝日雅也、石田貴美子、伊藤峰子、伊藤紀康、今井和美、上野豪志、内野かず子、大武昭、沖山稚子、尾谷英一、黄川田仁志、癸生川新一、佐藤恵美子、佐藤秀一、清水泰代、鈴木照和、関一幸、莊子敏一、高瀬勇、竹迫和子、田島玄太郎、巽孝子、巽優子、谷崎恵子、辻浩司、並木理、贅田敏之、西陰勲、野村康晴、橋本哲寿、原和久、原田真弓、日吉孝子、前田直哉、松田和子、松田典子、水谷淳子、森田譲二、谷塚祥子、山川百合子、山崎かおる、山崎有子、山崎泰子、山下浩志、山田裕子、山本正乃、吉田久美子、吉原広子

【寄付】 大家けい子、田島玄太郎、土居幸仁、直井利雪、贅田敏之、堀利和、松尾清晴、森田譲二、水谷淳子、山下浩志、山崎泰子

当会はみなさまの会費と寄付金等により支えられています。どうぞ、ご協力をお願いします。

2018年11月～2019年1月 職場参加カレンダー (2018年10月29日作成)

2018年11月			2018年12月			2019年1月		
日中行事	ほか		日中行事	ほか		日中行事	ほか	
1日 木	たそがれ		1日 土	産休フェスタ	1日 火			
2日 金	しらこぼと笛PR		2日 日	産休フェスタ	2日 水			
3日 土	春日部ふれあい広場		3日 月	どの千鳥庵	3日 木			
4日 日			4日 火		4日 金			
5日 月	水上公園共同作業		5日 水	当番会議	5日 土			
6日 火			6日 木	つどい準備	6日 日			
7日 水	当番会議		7日 金	つどい準備	7日 月			
8日 木	たそがれ		8日 土	どよう世一精	8日 火			
9日 金	水上公園共同作業		9日 日	共に働く街を創るつどい 臨時総会	9日 水			
10日 土	どよう世一精		10日 月	水上公園共同作業	10日 木			
11日 日			11日 火	緑谷水辺の市	11日 金			
12日 月	水上公園共同作業		12日 水		12日 土			
13日 火	緑谷水辺の市		13日 木	たそがれ	13日 日			
14日 水	水上公園共同作業		14日 金	しらこぼと笛	14日 月			
15日 木	蓮合カンパ(授与)		15日 土		15日 火			
16日 金	水上公園共同作業		16日 日	サンジエ市議会合同開会式	16日 水			
17日 土			17日 月	水上公園共同作業(千鳥日)	17日 木			
18日 日			18日 火		18日 金			
19日 月	水上公園予備日		19日 水	職場参加を語る会	19日 土			
20日 火			20日 木	たそがれ	20日 日			
21日 水	職場参加を語る会		21日 金	しらこぼと笛	21日 月			
22日 木	たそがれ		22日 土		22日 火			
23日 金	見沼緑地通園校発表		23日 日	わらじクリスマス会	23日 水			
24日 土			24日 月		24日 木			
25日 日			25日 火		25日 金			
26日 月			26日 水	ピアサポート研究会	26日 土			
27日 火			27日 木	たそがれ	27日 日			
28日 水	ピアサポート研究会		28日 金	大掃除	28日 月			
29日 木	たそがれ		29日 土		29日 火			
30日 金	産休フェスタ授与		30日 日		30日 水			
			31日 月		31日 木			

○ここにのっているのは世一精を運営するNPO法人全体のスケジュールです。就労移行支援「世一精」の利用者へのプログラムがこの他にありますが、省略します。
 の中は、リハビリを兼ねた1～3時間内の屋外のアルバイトです。グループでやるので、初めての方でも大丈夫です。
 ○ほかのスケジュールは、主に小グループでの講座やミーティングです。詳しい内容についてはお問い合わせください。

Café News Flash

【8月1日 松尾清晴さん(元JR社員)】

57歳で退職後、「世界の果てを見てみたい」とオートバイひとり旅を17年間…というとかっこよく響くが、1500ccのオートバイに450kgの荷物を積んで走り、何十回も倒れたが絶対一人では起こせない。その都度現地の人に手伝ってもらった、どこの国でも見知らぬ者に親切にしてくれたという。



【8月8日 門間愛さん
(ケアシステムわら細工事務局長)】

わら細工事務局長として働く彼女がわらじの会に出会うまでのプロセスは、分け隔てられてゆく以外の道はなかったように綴られていた。べしみに通所しながら、介助派遣事業所の事務局長や学校問題の集会や他の当事者のたくさんの会議などに参加している中で、いずれは生活ホームを出て一人暮らしを目標に生活をおくっている。



【8月22日 飯山和弘さん
(NPO法人じりつが運営する埼玉北地域活動支援センターふれんだむ所長)】

自身で「ほぼひきこもっていた。」と語る20代の頃の事から現在に至るまでを語った。後ろ向きで生きてきた自分が、前を向いて「これでもいいんだな」と思えるようになったのは、精神障害者のソフトバレーボールを始めたことがきっかけだったという。この日はメンバーピアサポーターの長島さんと二人で。



【9月5日 佐藤秀一さん
(世一緒月曜当番番担当)と母】
秀一さんが生まれた1970年から、脳腫瘍の手術や放射線治療を乗り越え様々な職を経て得た経験や、現在の生活ぶりを語った。
「佐藤さん、人生はどんな感じ？」
「いい感じ」



【9月12日 山崎昭二さん(しらこぼと笛・土鈴創作者)】

人形師にして他のさまざまな市民文化の担い手でもある山崎さん。世一緒スタッフに絵付け作業の指導もしてくださっている。身近な話から縄文時代にまで時間旅行にいざなってくれた。

【9月19日 齊藤一枝さん(ケアマネージャー)】 現



在独立のケアマネージャーとして事業所を構える齊藤さん。実はこの日もミニ手話タイムを行った橋本克己画伯の妹さんと書道塾仲間。わらじの会や世一緒との出会いとともに、現在のケアマネージャーとして生活する中で感じたことや現場の様子を語った。将来の夢は介護保険にひっかからない元気な高齢者のシェアハウスを作ること。この世一緒のように、近所の人が集まれるようにしたい。

【9月26日 寺島裕さん・藤崎愛美さん(よたろう楽団)】

自ら付けられたタイトルは「母娘そろってハンデ持ちですが何か？」母子のこれまでの暮らしの歴史や母・裕さんが現在、ご主人と月イチか隔月におこなっている福祉施設等へのボランティア演奏(裕さんがサクソ、お連れ合いがハーモニカ)について語った。



【10月3日 直井利雪さん(世一緒サポーター)】



自身の生い立ちと併せて、週二回世一緒サポーターとして、それ以外の日は集配の仕事をして働く現在の生活を語った。職探しは「自分の希望も含めて、よく考えないといけない。人間にとって大切なのは自分らしさだと思う。」

【10月10日 山田裕子さん(越谷市民ネットワーク)】
ぼらむの家の青山享美代表、田島明子調理チーフとともに、



こども食堂のはじまりから現在を語った。最初は「喰蔵」を定休日に借りて、月一回やっていたが、多い時は100人くらい来てしまう。手づくりのご飯でわいわいやりながら情報交換したいという親が多いと感じた。そのうち、食堂以外にも使える拠点がほしいと思ったことがきっかけでいまの場所を探したという。ぼらむにはいろんな人が来て過ごしている。いろんな人がいて風通しがよく、誰でも好きな時に来て、出て行ける。そんな居場所を目指して活動を続けている。



障害者雇用水増し問題が明るみになった今こそ

立ち上がりましょう

はじめまして。私は長野県在住の女性です。身体障害者で民間企業の障害者採用の差別のある採用を何社も経験し、この年齢になりました。

どんなに実力を持っていても、障害者である限り専ら一般社員にはなれません。図書館とある障害者が一流企業の社是を書かされているのも目撃したことがあります。社是を書いてこいということが仕事でしょうか。

国の定める障害者の雇用開発助成金があるために障害者を使いまわしている事実を私は自ら経験しています。

今までの日本は障害者を人間扱いしていません。もう私の年齢は45歳になってしまいました。

一般の健常者であれば今までの努力があれば、年功序列と実績で相当良い年収を築けているだろう年齢ですが、暮らしていることがやっとの経済状況です。社会は健常者の方が優遇されていることも知っています。

「障害者雇用」ではなく「障害者利用」であった事実。障害者の制度を改めるときが来たかと思っていますし、今まで障害者の人数稼ぎに使われただけのこの人生の代償をなんとか取り戻す勢いで時代は変わることを祈っています。

ぜひ、今後の活動に参加させていただけませんか。現在、医療系の専門学校へ通っていることがありますが出る限り参加して行きたいと思っています。

よろしくお願いたします。

「統合失調症」という病気にあって、今年で12年目を迎えました。この12年、色々な事がありました。年々と精神的にも変化が出てきました。自分が、まさか「障害者」になるとは、思っていますでしたが、「障害者」になって周りの世界が広がりました。

今、「統合失調症」になって振り返ってみると、辛い事の方が正直多かったのは事実です。幻覚や、被害妄想などに苦しんできました。波のある病気なので色々な事があった中、家族を中心に色々な方に助けられました。がら壁を乗り越えてきました。病気になるって、「人に優しく出来るようになった」「困った人をほっとけなくなった」そして、「障害」について、バカにする発言をする人に「それは間違っている」と言えるようになった。「人を平等に見たり、受け入れられたりすることが、出来るようになった」など、発症する前には、出来なかつたことが少しずつ出来るようになってきました。

そして一番大きく感じたの

は、「ありがとう」「ごめんね」を素直に言えるようになりました。今の夢は、苦しんでいる人、大きな壁にぶつかっている人、病気をなかなか受け入れられなくて辛い思いをしている人に、「病気になるっても普通の人とは変わらない、ただ、少し出来るまで遠回りしているだけ」っていう事を伝えられたらいいなと思います。

「病気の人」「健常者」の違いは、そんなないことを訴えることが出来たらいいなと思いましたが、

私は「統合失調症」になって、これからも辛いことたくさんあると思います。「死」を考えてしまふことも、きつとあると思います。ただ、今、幸せだなと感じています。周りの人に恵まれて、自信も少しずつついてきて、「健常者の私」「統合失調症の私」とちらの人生が幸せなのか、不幸なのかと考える時もあります。が、私は今の人生に悔いはありません。これからも楽しんで苦しんで生きていけたらいいなと思っています。

楽しんで苦しんで生きたい

1994年8月24日第三種郵便物承認

世一緒スタツフ日記

いま家族は二人だけ

癸生川新一

いま家族は二人だけ。妻と二人。家事は洗濯とか掃除は妻で、買物は私です。

妻は歩くのが苦手なのでほとんど外出せず、家にいます。買物は朝早く弁当とかパンを、自転車ですら私が買いに行きます。朝買つちやつたほうが後でゆっくりできるのです。

私は世一緒に月水金だけ来るようにしています。火・木は銀行とか買物とか駅まで来たり、ついでにちよつと世一緒に来るくらいです。

なるべく家で昼寝しています。年取って疲れちゃうから。

世一緒では草むしりとか、何にもない時は世一緒にボーツとしていきます。水上公園はバスに乗って行きます。駅までは自転車です。

妻と出かけるのは、妻が市立病院に三ヶ月に一回行く時です。タクシーで行って、帰りどこかで食事してタクシーで帰ってきます。

うちでは二人でラジオをきいているか、自分のことを何かやってるのであんまり話はしません。



仕事場のGIRL

新井 里佳

今の私は、一生けん命、がんばっています。

イリスでは、しせつ外に行ったりねん物のしわけをやっています。7人くらいでやっています。

職員さんは、やさしいです。何でもそうなんです、こたえてくれます。楽しいです。イリスの中では、おみくじ、タオルたたみ、ドラバッチ、袋のチラシいれ、今は、とくに万葉のタオルたたみをやっています。大変です。

イリスに入ってから、しゃべる人ができています。女の子、仲よくなりまりました。最近私は、かぜをひいて、39度のねつをだしました。くるしかつたです。だけど、仕事に行こうと思っています。今日世一緒にきて、にぎやかで、めぐちそうになつてとてもよかったです。ひさしぶりの人にも会いました。

最近はお母さんが大変だからです。ごはんたき、おふるそうじ、せんたくこみやっています。

最近はお母さんが大変だからです。ごはんたき、おふるそうじ、せんたくこみやっています。

最近はお母さんが大変だからです。ごはんたき、おふるそうじ、せんたくこみやっています。

世一緒では、障害や病気その他の状況による働きづらさを、他の人々と共有し生きるためにして生きるために、世一緒に関わっている人たちを「スタツフ」と呼んでいます。サポーター(非常勤やボランティア)の支えを受けて、世一緒の当番(ピアサポート実習)や「語る会」、身近な地域で必要とされる仕事(花壇整備、除草、ポスティング)のグループワーク等もしています。元スタツフ等からの近況報告も紹介します。なお2018年4月からはせんげん台に就労移行支援事業所「世一緒」が開所しました。こちらは制度により定められた職員がおり、通所2年の間に一般就労への支援サービスを提供する場となっています。当会は定められた支援ももちろん、自主事業の世一緒(越谷)と連携して、多様な就労やピアサポートも可能な展開をめざします。

長く頑張りたいです

川原 美恵

今の私は今日で4日目仕事頑張っています。長く勤めたいのでいろいろ頑張りたいです。

トイレ清掃など洗面台などいろいろまかされるようにがんばりたいです。

ハローワークで見つけました。長く今の所で頑張りたいです。だからみんなもいろいろ相談しながら頑張ってください。ここにきて良かったなと思います。ここにきて良かったなと思います。ここにきて良かったなと思います。

働いて今は健康で頑張りたいです。ここにきて良かったです。それはここにきて良かったです。ここにきて良かったです。

ここにきていろいろ話をしたいです。洗たくきのゴミ取りなど最初にやっています。後乾燥機いのフイルターの清掃もしています。いろいろやる事があるけど徐々に慣れていききたいなと思いました。

今日世一緒に来て良かったです。いろいろと話し出来て良かったです。あきかんやペットボトルの仕分けなどがあります。頑張りたいと思います。又世一緒に来たいです。

会社でいっぱいした

中原 清

プラスチックしているのがしりをアルコールシンナをつかっておいがきつくたえきれなかったのたがいしよくをしました。でもかぶれてすごかったです。いまわやめてほしいです。しよるいとお金ももらえるか少しはいいです。こんごのきぼうはおちついてあわないで仕事をさがすことです。

ギャラリー 世一緒



多賀健太郎画伯(神戸市)からのプレゼント

NPO法人障害者の職場参加をすすめる会

〒344-0023 埼玉県越谷市東越谷 1-1-7 須賀ビル 101 世一緒内 (ハローワーク斜向かい)
048-964-1819 (fax 共) shokuba@deluxe.ocn.ne.jp http://www.5b.biglobe.ne.jp/~yellow/



発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会の 3333・0851 川口市芝新町十五一丸アステール藤野1F
二〇一八年十一月十二日発行(毎月十二回 二と四と六と八の日) 通巻 第四六九二号
一九九四年八月二十四日第三種郵便承認